

10月26日(土)に茨城・高萩市で開催

戸沢サミット参加者を募集

史談会員と町民合わせて30名を予定

当会では、10月26日(土)に茨城県高萩市で開催される「戸沢サミット in 高萩」に会員多数で参加しようと計画しています。参加者の募集は町の広報と当会会報で同時に行います。また戸沢氏ゆかりの雫石八幡宮氏子講中の方々や町内の戸沢集落の方々にも参加をお呼びかけしています。

サミット参加研修旅行の日程と募集要項は下記のとおりです。どうぞお早めにお申し込みください。



写真は旧松岡城内にあった土蔵。

松岡小学校校地内に現存する。

高萩市内ではほかに復元した武家屋敷なども見ることができる。

《募集要項》

- ◆対象； 町民及び町内事業所等勤務者
- ◆募集人員； 30名（史談会会員を含む）
- ◆参加料； ひとり20,000円以内（バス、宿泊料、昼食2回、入館料を含みます。）
- ◆申込み先； 史談会 関 敬一まで<電話692-2392、FAXも同じ>
- ◆申込期限； 25年9月25日(水)午後5時まで
- ◆その他； 参加者を対象に事前研修会を計画しています。
- ◆後援； 雫石町・雫石町教育委員会（町当局からは町長または教育長がサミットに参加予定）

戸沢サミット参加研修旅行日程のあらまし

【10月25日(金)】 8:00 町役場前出発 <東北道・常磐道経由> 見学地「袋田の滝」「旧松岡城」ほか— 夕刻；北茨城市「五浦観光ホテル」到着・泊
(五浦(いづら)海岸は明治の天才画家岡倉天心の活動拠点、横山大観画伯題材の地)

【10月26日(土)】 午前中 高萩市で「戸沢サミット」。戸沢氏ゆかりの4県5市町の関係者と交流。 午後 野口雨情記念館見学 帰路<東北道・常磐道経由> 途中「勿来(なこそ)の関」立ち寄り—— 19:00 雫石町役場 帰着

【参考】 松岡城…常陸国多賀郡（現在の茨城県高萩市下手綱）にあった城郭。1420年頃大塚氏が築城。1605年戸沢氏が修築し松岡城と改称。1707年廃城。1803年中山信敬が再築。龍子山城（たつごやまじょう）・手綱城（たづなじょう）とも呼ばれます。

天守や櫓はなく、陣屋程度の規模で山頂に本丸を置き、麓に二の丸御殿や家臣の住まい、三の丸に役所、台所、家臣の住まいが軒を連ねていたといわれます。

明治時代初期には常陸松岡藩の藩庁が置かれ、その後建物は払下げ取り壊されました。敷地は松岡小学校となって現在に至っています。

9月の「歴史サロン」のお知らせ

日程の都合で今回はお休みします。次回を楽しみにお待ちください。

第3回役員会を開催

「8・9 集中豪雨による被災者の証言記録」作成を決定

8月29日（木）に本年度第3回の役員会を開催しました。この中で標記の被災証言記録の作成に取り組むことを決定しました。証言記録作成の趣旨等は次のとおりです。

◆
1・趣旨 標記災害は当町に甚大な被害をもたらした。今後作成されるであろう公的災害報告とは別に、この被害の実態を被災者からの証言をもとに明らかにし、「被災者の証言」として取りまとめ、今後の災害への備えの一助にしたい。雫石町史一巻にも、町民の明治・大正、昭和の大災害時における体験記録が掲載されており、歴史資料としてはもちろん、防災対策上も貴重な資料となっている。町民の大半がこれまでに経験したことのない程の今回の災害の状況を、住民の生の声として記録し、後世に語り継ぐことは我々滴石史談会にとって使命の一つであると考えます。



9日 13:30 中央公民館裏側の用水路が溢れ、濁流が農道を越して水田に入った。

- 2・内容** ①当会に「2013・8・9 雫石豪雨被災者の証言」記録作成委員会を立ち上げる。（時期は9月中旬までに。委員数は10名程度）
②作成委員を中心に、今回被害の大きかった「御明神地区」「御所地区」、さらには「雫石地区」「西山地区」に分けて、各地区ごとに一定数の証言者を掘り起こし、直接面談して証言を聴き取りする。（証言者数は全体で50人程度としたい）
③証言記録作成委員会において、作成（編集）作業を進め本年内に「証言記録集」を完成させる。
- 3・その他** 詳細の計画決定、実施は作成委員会に委ねるものとする。

◆
✿ 被災証言記録の作成にご協力いただける会員を募ります。個人にあまりご負担をおかけしないように進めたいと思います。ご協力いただける方、または問い合わせは 関 副会長（692-2392）までご連絡ください。

この日の会議に提出されたこのほかの事業等の経過・報告や費用の精算並びに今後の事業計画は次のとおりです。

【報告】①盛岡藩・八戸藩藩境塚探索事業結果 ② 町からの事業費補助金（30,000円）の交付（8月20日入金） ③町ふるさと文化振興基金交付決定（200,000円・戸沢サミット参加事業） ④一里塚等の草刈り作業奉仕（2回） ⑤町教委と共催の郷土史教室の結果（一戸町・25名参加） ⑥少年少女歴史教室の途中経過（小学生4、中学生4名が受講。支援員12名） ⑦みんなで歩こう秋田街道で案内を実施（25名参加） ⑧北浦史談会との交歓会費用精算（22,790円の予算超過） ⑨月例歴サロンの開催状況（3回で延べ20名参加） ⑩ 会報の発行状況（3回・町及び県立図書館に会報ファイルを寄贈）

【協議】①戸沢サミット参加事業要項（決定） ②町教委と共催の第2回郷土史教室（11月中旬・御所（特に繋、元御所）地区） ③会報25号発行について ④明春予定の会報発行と自主研究発表会の開催について 以上。

＜お知らせ＞ 10月7日—会報25号—を発行予定

会員の皆様からの原稿を募ります。内容は「自分の調査研究の成果」はもちろん、「郷土史について（例・地名や屋号、人物、風習、方言など…）日ごろ感じていること」、「自らの体験で伝えておきたいこと」など大歓迎です。字数の制限はありません。原稿は手書きでも結構です。ご連絡をいただければご相談に応じます。連絡先；関 副会長＜電話 692-2392＞

